



● 第9回(23年度)MPドリーム助成先募集

【申込受付期間】平成23年8月19日(金) 17:00必着

【助成対象】三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ ※詳しい応募条件などはホームページをご覧ください。

【助成金額】1件/20万円以内

応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください → <http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyo/newpage15.htm>

【問い合わせ】三重県遊技業福祉連合会事務局 TEL 059-221-1677 FAX 059-227-7332

● 財団法人みずほ福祉助成財団 平成23年度社会福祉助成金募集

【申込受付期間】平成23年8月1日(月) 必着

【助成対象】社会福祉法人、非営利活動法人、任意団体、共同作業所等又は研究グループ ※詳しい応募条件などはホームページをご覧ください。

【助成金額】(1)事業助成 1件/15万円以上、100万円を限度 (2)研究助成 1件/150万円を限度

応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください → <http://homepage3.nifty.com/mizuhofukushi/>

【問い合わせ】財団法人 みずほ福祉助成財団 TEL 03-3201-2442 FAX 03-5252-8660

● 三井物産環境基金 東日本大震災復興助成案件募集

【申込受付期間】平成23年7月29日(金) 必着

【助成対象】(a)活動助成…日本国内に拠点をもちNPO法人、公益法人、特例民法法人、大学で活動実績が3年以上の団体

(b)研究助成…日本国内に拠点をもち大学、公的研究機関、NPO法人、公益法人、特例民法法人等で、研究実績が3年以上の団体

※詳しい応募条件などはホームページをご覧ください。

【助成金額】総額6億円

応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください → <http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/fund>

【問い合わせ】三井物産株式会社 環境・社会貢献部 三井物産環境基金事務局

(a)活動助成 TEL 03-6705-6156 (b)研究助成 TEL 03-6705-6153

センターからのお知らせ

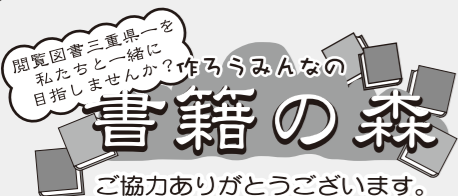


◎ センター休館のお知らせ

祭り当日は例年通り休館日とさせていただきます。

・祇園まつり…7月16日(土)・17日(日)

・七夕まつり・鈴の音市…8月6日(土)



当センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。

【募集書籍】

ご協力ありがとうございます。

引き続き書籍の寄贈を募集中です。 NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

ちょこっと編集後記

現在、当センターでは「東日本大震災復興支援の会 三重」からお預かりした写真を展示中です。被災地のことを忘れないためにも是非ご覧ください。取材も含め、貴重な情報提供ありがとうございました。【M】



次号は2011年8月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2011年7月30日(土)です。 担当/澤・三上

松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜～土曜日/10:00～22:00 松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801 (予約専用) 0598-26-0108

FAX 0598-25-3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用

会議室	大会議室…机10 椅子30 (600円)	機材等	印刷機(紙持込) / コピー機
	小会議室1…机4 椅子12 (150円)		マイク/プロジェクター 他
	小会議室2…机6 椅子18 (200円)	会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。	
	小会議室3…机4 椅子12 (150円)	利用申込	申請書類は窓口でご記入いただくか
料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。外会議室…机8 椅子24 (400円)			お電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ <http://www.katsudou.com>

▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報) <http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>



〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F

開館 月曜～土曜日/10:00～22:00

TEL 0598-25-3801 (予約専用) 0598-26-0108

FAX 0598-25-3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

～アロマ～ No.35



今号は…東日本大震災復興支援の会 三重 さんです

3月11日の大地震発生から3か月以上が経過した。この地域からも義援金や救援物資だけでなく、実際に現地に向かいボランティア活動を行う人も増えてきている。今回の取材先「東日本大震災復興支援の会 三重」は震災直後に発足した団体で、松阪市立中部中学校の教諭、喜田健児(きたけんじ)さんを中心とした教師仲間と、喜田さんの呼びかけで集まったボランティアで構成される。同会は今まで4度にわたり被災地入りしており、中学校の生徒たちで集めた救援物資の輸送や避難所での物資の仕分け、瓦礫の撤去など救援活動を行ってきた。

松阪市立中部中学校教諭 喜田健児さん

宮城県石巻市に救援活動に初めて入ったのは3月30日。救援物資を届けた石巻市立湊小学校では当時、3千食分で足りる食パンが1万食分届いていた。また、家屋にたまったヘドロ出しや、道路に溢れた瓦礫の撤去は、まったく人手が足りていない状況だったという。震災から19日が経過していたが、指示系統が機能しておらず現場は相当混乱していたようだ。そしてあまり報道されていなかった“人災”の事実を知ることとなる。一部の暴徒化した窃盗団により、被害を免れた家財が持ち出されたり、放火なども起こっていたそうだ。喜田さんたちはこうした状況に胸が締め付けられた。それでも被災地の人たちから拜むように感謝されたことを励みに救援活動に取り組んだそうだ。

被災した子どもたちと三重の子どもたちとの交流の場を設け、強い絆をつくることで未来への夢と希望を取り戻すことを目的としている。「この震災を乗り越え、次の時代へ、ひとりひとりの気持ちがソフトチェンジしていかなければならない。これは、教育の現場にいる私たちがだからこそできる復興支援です」と喜田さんは語ってくれた。

メディアが報じる映像などでは伝わりきれない被災地の現状を実体験から語ってくれた喜田さん。「三重県から何をすべきか」という質問に対し、「被災された方々のことを決して忘れないこと。まずそれが一番大事」という答えが返ってきた。長期化が予想される復興支援への強い

思いが込められた言葉だ。喜田さんたちの力強い使命感と、絆を大切にしている活動は、新しい未来にソフトチェンジする足がかりとなるだろう。

未来への絆 福島・宮城・岩手と三重 子ども大人交流会

日時 2011年8月20日(土)～21日(日)

会場 修養団伊勢青少年研修センター (伊勢市宇治今在家町153)

【東日本大震災復興支援の会 三重】に関するお問い合わせは…

TEL : 090-5605-0857 (喜田さん)

TEL : 0598-23-5590 (中居さん)



石巻の様子。現在も2700名以上の方が行方不明のままです。

喜田さんたちは津波により壊滅的な被害が出た牡鹿郡女川町の学校も訪問した。生徒たちのほぼ全員の家が全壊し、震災孤児になった児童も多い。それでも元気に振舞う子どもたちの姿は、周りの大人にも勇気を与えていた。現地の状況を把握し、三重に帰ってきた喜田さんたちは教師として“自分たちに何が出来るのか”を問い続けていた。そしてその答えのひとつとして、被災地域と三重の教師が連携して取り組む「未来への絆～福島・宮城・岩手と三重 子ども大人交流会～」というプロジェクトを立ち上

夏至に合わせた同時開催! キャンドルナイト2011 & 登録団体交流会

市民活動センター
6月22日(水)夏至、省エネルギーやCO2削減など環境意識の啓発となるよう取り組んでいる「市民活動センターキャンドルナイト2011」と、当センターの登録団体を招いて行う「登録団体交流会」を同時開催しました。

カメヤマキャンドルハウス事業部さん
ご寄贈ありがとうございました。

KAMEYAMA
Candle House

キャンドルの灯りの中で行われた
アピールタイムの様子

体全身を使った
アピールも!



キャンドルナイト2011

当センターの実施するこの取り組みも今年で5回目となります。今年はラウンジと交流会会場に240個のキャンドルを配置し、20時~22時の2時間、電気を消してキャンドルナイトを実施しました。使用したのは昨年と同じく「カメヤマキャンドルハウス事業部」からCSR活動の一環として寄贈していただいたエコキャンドルです。この取り組みを通じ、節電だけでなく、私たちを取り巻く環境問題について考えるきっかけとなることを願います。

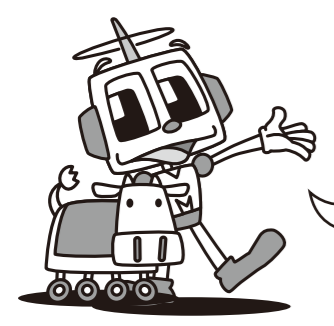
登録団体交流会

登録団体交流会は毎年2部構成で実施しています。第1部は当センターからの各種報告など。第2部は「交流タイム」と「活動アピールタイム」を行いました。交流タイムは主にグループワーク、「この地域からできる被災地を笑顔にする方法」というテーマで活発な意見交換が行われました。また、活動アピールタイムの前に、会場内でもキャンドルナイトを実施。その後、会場内の電気のほとんどを消灯したままアピールタイムを行いました。参加団体からは「手作りの感じがいいね」、「初めて参加したが、楽しかった」など嬉しいお言葉も頂戴しました。今回のワークで話し合ったテーマが実際の活動に結びつくと当センターとしても嬉しく思います。

でんきを消して、スローな夜を。1000000人のキャンドルナイト(2011年特設サイト) <http://candle-night.org/jp/2011/>

告知 市民で作る“楽市楽座” 七夕まつり鈴の音市 今年も出店します!

毎年2万人規模の来場者で賑わう「七夕まつり・鈴の音市」に今年も当センターはブース出店し、市民活動のPRや当センターのアピールを行います。また、昨年から行っている登録団体向けの出店支援事業「アピールチャレンジ事業(※)」も継続して実施。今年は2団体の支援となります。ブース出店、市民ステージの両方を支援させていただく予定です。ご来場の際には、出店支援ブースにも是非足をお運びください。



今年は
8月6日(土)開催
17:00 ~ 21:30
開催場所は
松阪市中心市街地平生町から
大橋、魚町橋の阪内川周辺だよ!

※アピールチャレンジ事業
センター登録団体向けのアピール力支援事業。鈴の音市などへのブース出店までの流れをこのサポート事業で体験してもらい、アピールする楽しさを学んでもらう。また、来年度以降はこの経験をもとに独自で出店していただき、街の賑わいづくりに貢献してもらうことを目的としている。

告知 募集 打ち水大作戦 2011

今年で4回目 夏を涼しく楽しもう!

「大暑」にあたる7月23日(土)午後2時より、カリヨンプラザ1階にて4回目となる「打ち水大作戦」を実施します。今年も、松阪市商店街連合会、松阪市自治会連合会の賛同を得て実施します。この取り組みは、東京のNPOの活動が全国的に広がったもので、日中のエアコンの節電、ヒートアイランド現象の緩和など、私たちを取り巻く環境問題への意識啓発のための取り組みです。「真夏の気温を2℃下げよう!」を合い言葉に各地で行なわれており、毎年センターのスタッフは浴衣や甚平を着て打ち水をするなど、アピールも積極的にあこなっています。

そこで...
7月22日(金)まで「私も自分で打ち水します!」という「打ち水人宣言」を募集しています。ご参加いただける方は、当センターに設置の専用用紙、電話、FAX、メールのいずれかで宣言をお寄せください。いただいた宣言は、センターのブログなどで随時紹介させていただきます。(個人の方はペンネーム可)

打ち水人宣言
を募集中です!



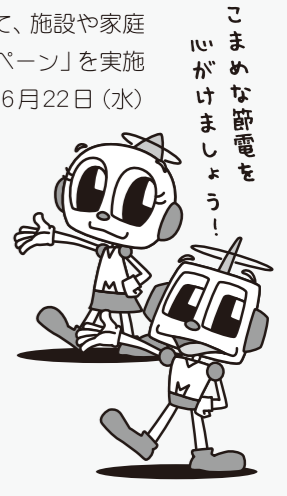
「打ち水します!」という方はコチラまで...
TEL : 0598-26-0108 FAX : 0598-25-3803
Mail : katsudou@ma.mctv.ne.jp (担当: 澤)

【打ち水大作戦】 <http://uchimizu.jp/>

松阪市からのお知らせ

昼も。夜も。 節電ライトダウン2011

環境省では、2003年より地球温暖化防止の1つの取り組みとして、施設や家庭の電気を消すよう呼びかける「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を実施しています。今年度は、東日本大震災を受けた節電の必要性から、6月22日(水)から8月31日(水)を対象に、昼夜を問わず自主的なライトダウンの呼びかけを行う「昼も。夜も。節電ライトダウン2011」が実施されます。松阪市もこの取り組みに賛同し、この地域からできる自主的な節電を広く呼びかけています。この取り組みでは、夏の電力消費量抑制に寄与するため、昼夜それぞれ任意2時間の消灯を呼びかけています。また、そのうち特別実施日として、6月22日(水)を【夏至ライトダウン】、7月7日(木)を【クールアース・デー】と称し、2日間を設定し、全国のライトダウン参加施設において、夜8時から10時までの2時間、一斉にライトダウンが実施されます。



身近なCSRを探して vol.7 子どもたちに「川の大切さ」を伝える公募展



うおすけ
【所在地】多気郡多気町相可 480-8

多気町にある鮎の甘露煮専門店「うおすけ」では、毎年、小学生を対象にした「川の詩と絵の公募展」を開催しています。平成10年から始まり、今年で14回目を迎えます。

実はこの公募展は、地域環境をよくすることが企業の継続的な発展にもつながる——というCSR的な発想から生まれました。そのきっかけは、約15年前、榎田川を身近な遊び場として育った社長・茶谷明樹(ちゃたにはるき)さんが、自分の息子を榎田川へ連れていったときのこと。昔は澄んでいた川が汚れ、濁っているのを目の当たりにしてショックを受けたと同時に、同社では、川の恵み・鮎を使った商品を扱っているため「河川環境をよくしていかないと、自社の持続可能な発展はありえない」と強く感じたといいます。そこで、将来を担う子どもたちに詩作や絵を描くことを通じて、川をとりまく環境やその大切さを知ってほしい、という思いから公募展を企画しました。当初は少なかった応募者も次第に増え、昨年は550点を超える応募が集まったとか。地道に長期的に取り組む環境意識の啓発活動は、着実に広まりを見せています。

「小学校 詩と絵の公募展」
詳細は、うおすけHP <http://www.uosuke.co.jp/>

※応募メチは9月10日まで。応募作品は選考ののち、10月29日~11月6日までイオン明和ショッピングセンターで展示されるほか、小冊子「天地の恵み」に掲載され、近隣の小学校や百貨店に広く配布される。

